

## ディスポーザブル気管内吸引チューブ

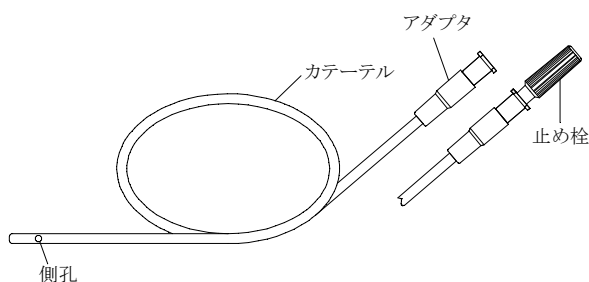
### 再使用禁止

#### 【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止

#### 【形状・構造及び原理等】

- ※ ※ 本品は、患者の体内に挿入するカテーテルと吸引源に接続するアダプタから構成され、カテーテルを咽頭、喉頭、気管又は気管支に挿入し、吸引源と接続することで吸引、排液及び異物除去ができる。
- ※ ※ <構造図(代表図)>



- ※ ※ ・カテーテルはポリエチレン製。
- ・サイズについては、包装表示で確認すること。
- ※ ※ ・止め栓付きと無しがある。

#### 【使用目的、効能又は効果】

- ※ ※ 本品は、経鼻又は経口的に、気管内チューブ又は気管切開チューブを介して咽頭、喉頭、気管又は気管支に挿入し、吸引、排液及び異物除去に用いる。

#### ※ ※ 【品目仕様等】

- ・カテーテルとアダプタは、以下の表の接続強度を有する。

サイズ(外径) (mm)	力の最小値(N)
1.33～2.67	5
3.00～4.67	15
5.00 以上	20

- ・カテーテルは、40kPa(300mmHg)の陰圧をかけた時に閉塞しない。

#### 【操作方法又は使用方法等】

- ※ ※ 本品は滅菌済みであるのでそのまま直ちに使用できる。

気管内挿管を施してある患者に対する気管内吸引の方法

- 1) 本品を包装から取り出す。  
**注意** 汚染に十分注意すること。
- 2) 定圧持続吸引装置と接続する。
- 3) 本品と気管内チューブとの滑り性向上と吸引陰圧を確認する目的で、滅菌蒸留水を吸引して、カテーテルの先端を濡らす。
- 4) 吸引を中止した状態で気管内チューブに挿入し、抵抗のあるところまで押し進める。  
**注意** 無理な操作は行わないこと。[粘膜損傷の原因となる。]
- 5) 吸引を行いつつ本品を回転させながらゆっくりと引き抜く。  
**注意** 過剰な吸引圧をかけないこと。[粘膜損傷の原因となる。]
- 6) バッグを用いて肺を加圧して、換気を行う。
- 7) これらの操作を繰り返す。

#### <使用方法に関連する使用上の注意>

- ・清潔操作下にて行うこと。
- ※ ※ 操作中に異常を感じた場合は、すみやかに使用を中止し、適切な処置を施すこと。[粘膜損傷の原因となる。]
- ※ ※ 併用する医療機器の使用等方法等については、その添付文書を確認後、使用すること。
- ※ ※ 操作中に過剰な吸引圧を掛けないこと。[粘膜損傷の原因となる。]

#### 【使用上の注意】

##### <重要な基本的注意>

- ・気管内チューブから本品を挿入する場合は、気管内チューブの内径に合ったサイズを選択すること。
- ※ ※ 吸引ごとに本品を交換する事。[細菌汚染の危険性がある。]
- ・手技に伴い発生する恐れのある合併症等に対する予防、治療対策を講じておくこと。
- ・包装が既に破損、汚損している場合や、製品に破損等の異常が認められる場合は使用しないこと。

##### ※ ※ <有害事象>

- ・重大な有害事象
- ・粘膜組織損傷
- ・感染

##### <その他の注意>

- ・使用後は感染防止に配慮して安全な方法で処分すること。
- ・本品はエチレンオキシドガス滅菌済み。

#### 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

##### <貯蔵・保管方法>

- ・水ぬれ、直射日光、高温多湿を避け保管すること。

##### <有効期間・使用の期限>

- ・箱に記載している使用期限を参照のこと。(自己認証による)

#### ※ ※ 【包 装】

50 本/1 箱

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

##### ※ <製造販売業者>

株式会社八光  
 長野県千曲市大字磯部 1490 番地  
 TEL 026-275-0121

##### ※ ※ <製造業者>

株式会社八光

販売窓口：東京都文京区本郷三丁目 42-6  
 TEL 03-5804-8500